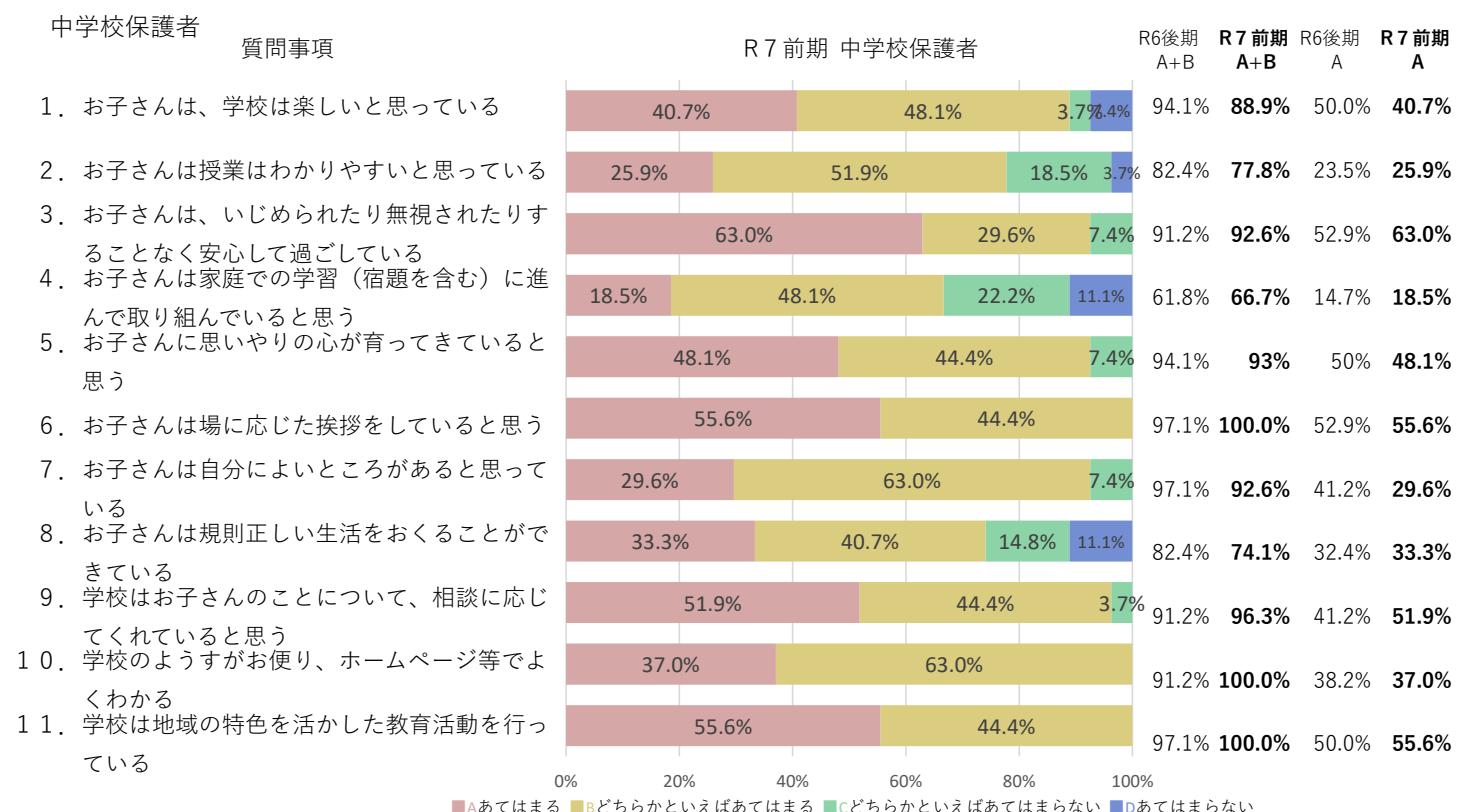
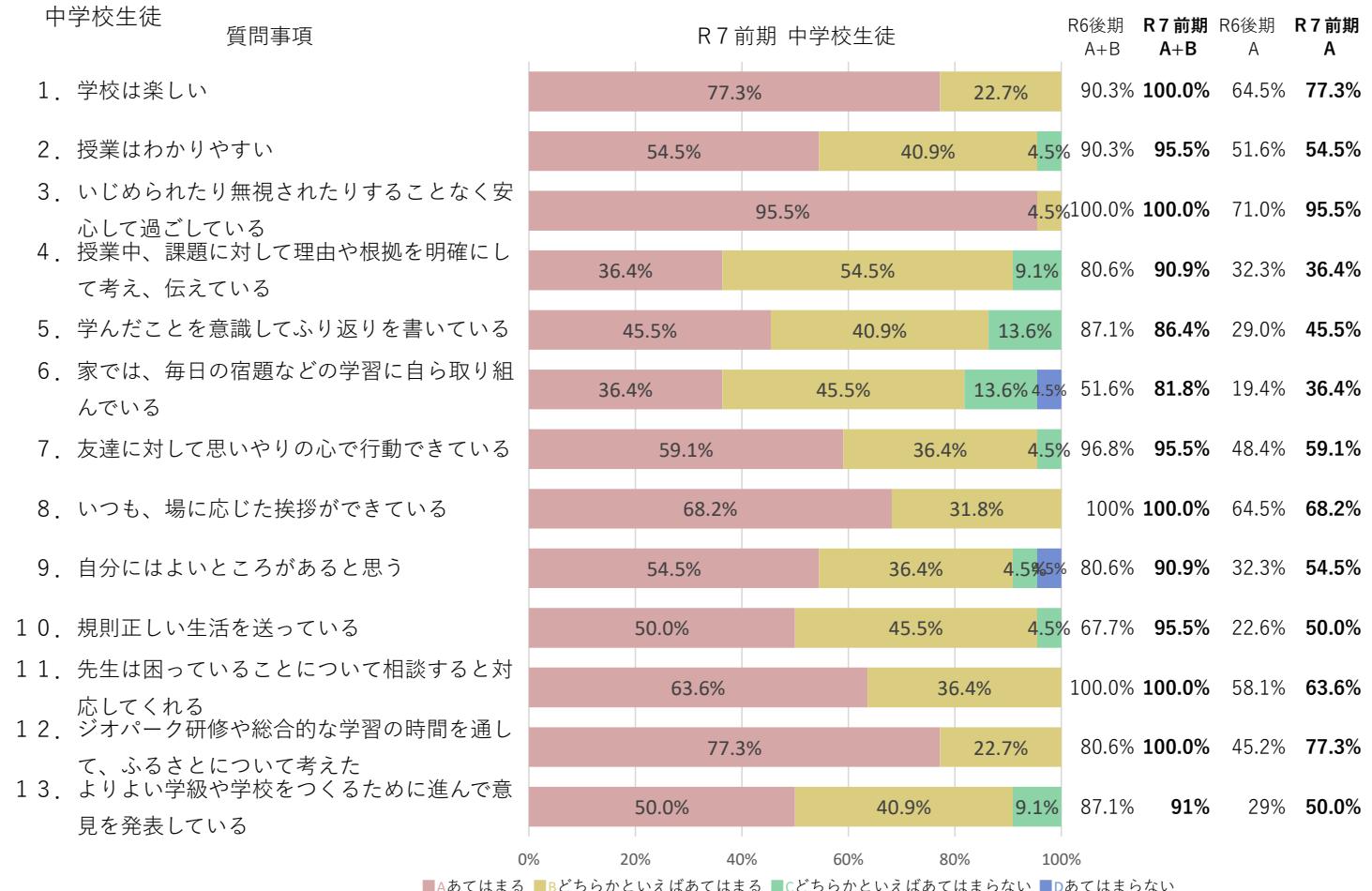
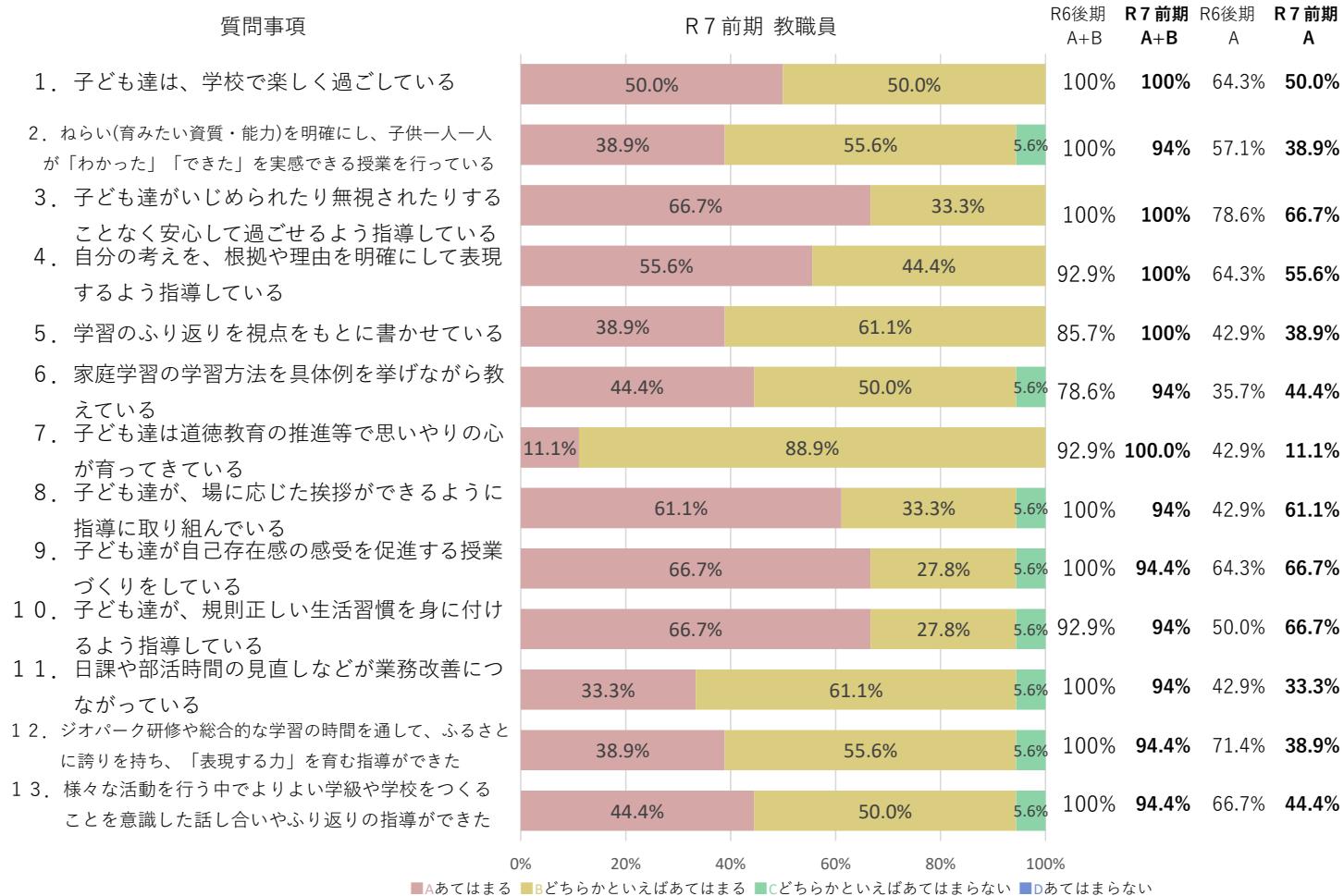


令和7年度前期 学校アンケート集計結果等について

白露の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。前期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めていきたいと考えております。



教職員（小学校 + 中学校）



【よかった点○と課題▲と改善点☆】

〈学習面について〉

- 「学んだことを意識してふり返りを書いているか」の問い合わせに対して、昨年度後期よりA評価が16%上昇し45%になった。「わかった」「できた」をより実感できる生徒が増えたと考えられる。
- ☆これからも教師側が明確にふり返りの視点を提示し、「自分でやりきった」と生徒が自信を持てるような声かけを続ける。
- ▲「家庭学習を自ら取り組んでいるか」の問い合わせに対して「よくあてはまる」と回答した生徒は、昨年度後期より増加したが、まだ半分には達していない。保護者も18.5%と低い等、家庭学習の習慣化が依然として課題である。
- ☆生徒がより自主的に、家庭学習に取り組めるよう、学習コンテスト等を活用したり、学び方の指導・定着を図ったりする。

〈生徒指導面について〉

- 「学校が楽しい」の問い合わせに対して、A+B評価100%、A評価も上昇した。
- 「自分にはよいところがある」の問い合わせに対してA+B評価、A評価ともに昨年度後期より上昇している。また4月の学力調査時よりも上昇している。
- 規則正しい生活について、生徒自身に課題を設定させて取り組んだことで、A+B評価、A評価ともに昨年後期より大幅に上昇している。
- ▲多くの生徒がメディア時間と、それに起因する睡眠時間が課題となっていることがわかった。
- ☆今後は、今回見えてきた課題に焦点化した取組を考えていきたい。

〈白山手取川ジオパーク教育について〉

- 保護者・地域の方々のご理解ご協力のもと、豊かな自然を活かした活動を行うことができた。

【学校関係者評価委員会より】

- 白嶺の子どもたちが進んで発表したり、自己肯定感が上がったりしている様子がうかがえる。
- ☆「他者理解」への取組(教師のはめ・認めだけでなく、生徒同士が他者を認めるような関わりができるように授業等で共通実践を行っていく取組)等、今後も生徒一人一人の自己肯定感が高まる取組を継続していただきたい。